平成29年 月 日

代表者 所属名 JIRETTAI 氏名　 印

記

１．事業化構想の名称

「開発環境支援システムの構築」

２．代表者・及び共同提案者の氏名及び所属

・

３．代表者及び共同提案者の連絡先

1)代表者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 代 表者 名 | (ふりがな) | 電話番号 | | |  |
| 携帯電話 | | |  |
| Ｆ Ａ Ｘ | | |  |
| 住所 | 〒 | U | R | L |  |
| e - ma i l | | |  |
| 所属 |  |  | | |  |

2)共同提案者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | (ふりがな) | 電話番号 | | |  |
| 携帯電話 | | |  |
| Ｆ Ａ Ｘ | | |  |
| 住所 | 〒 | U | R | L |  |
| e - ma i l | | |  |
| 所属 |  |  | | |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | (ふりがな) | 電話番号 | | |  |
| 携帯電話 | | |  |
| Ｆ Ａ Ｘ | | |  |
| 住所 | 〒 | U | R | L |  |
| e - ma i l | | |  |
| 所属 |  |  | | |  |

事業計画書（要約版）

2017 年

|  |  |
| --- | --- |
| 事業構想の名称 | 「開発環境支援システム」の事業化 |
| １．事業構想概要 | 事業の動機，開発背景 QAエンジニアをなくしたいと考えている．なぜ？以下，推測．まず，解決すべき課題として，ソフトウェアの品質管理問題がある．結合テスト以降も開発者がテスト実行すると偏りが生じ，このように実装したからこの「有効レンジ」のみテスト実行でという思い込みが発生し，なかなかうまく不具合が検出できない．本番デプロイしリリース後，処理が正常動作しない．結果，損害を生み，ユーザーに返金，謝罪という悪循環が生まれてしまう．  C:\Users\steel\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\Content.Word\1.png  Figure 1 QAについて  私達はその課題を開発環境支援ソフトウェアで解決した．以下開発ソフトウェアの内容． その解決策は，競合と比較して，どのような競争優位性があるのか？ 　現在QAはQAエンジニアが行っており，多くの時間とコストを費やしている．開発期間およびコストに関して，QAエンジニアのケースおよび，このシステムのケースとを比較すると以下の図のようになる．  C:\Users\steel\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\Content.Word\2.png  300万円  7日  3000万円  60日  JIRRETTAI  QAエンジニア  開発コスト  開発期間  Figure 2　コスト比較 どの市場を狙っているのか，その市場の成長性？ 国内のソフトウェア市場は，Figure 3のように，今後も3%程度の成長が予想されている．  C:\Users\steel\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\Content.Word\3.png  Figure 3　ソフトウェア市場の成長予想  事業の当初はQAの市場をターゲットとし，これは，全てのソフトウェア関連企業にとって必須であり十分な規模を有している．定量的にそのソフトウェア市場のデータをこのシステムで収集し，コンサルティングまで行うことができるスケーラビリティのあるシステムになっている． どうやって，顧客に商品／サービスを提供するのか？ 大手ソフトウェア会社への導入により実績を積み重ね，QA市場を席巻する． |
| ２．活動体制 | どのようなチームで，上述の事業構想を達成しようとしているのか？ 　このチームは高い志と情熱を持ち，ソフトウェアの労働環境及び品質を改善するために現在も邁進している．今後もソフトウェアによって多様な品質改善のビジネスを提案していく． |